



宮司プレス 七十七号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十四年十月 十三日

◇宮司の柴田です。 宿直（しゅくちよく）

は、四日に一回のペースで私の番が、まわつてまいります。 過日の宿直の巡回では、裏

参道の躑躅（つづじ）の植え込みから、虫の大合唱が聞こえてきました。 つい、この間

まで、寝汗（ねあせ）で、枕（まくら）を濡（ぬ）

らしていたように思いますが、昨今の明け方などは、ひんやりとして、布団の温（ぬくも）りの余韻（よいん）にひたりつつ、朝を迎えています。 いよいよ、深まりゆく秋となりまりましたね。

◇物理学者の寺田寅彦さんは、「天災と国防」と題する論考（ろんこう）で、国防は、「国家の安全を脅（おびや）かす敵国に対する国防」と「一国の運命に影響する可能性の豊富な大天災に対する国防」の二つの「国防」を指摘されました。 ひとつめの「国防」は、

まさに、東日本大震災の復興なかばではありますけれども、来るべき東南海や、首都直下型の大震災に備えなければならない、「防災」にほかなりませんよね。 さらに、もうひとつの「国防」は、本年が、日中の国交が正常

化して四十周年の佳節（かせつ）だというのに、領土問題を端に発した「政令経冷（せいれいけいれい）」といわれる、政治や経済、はたまた文化交流の分野までギクシヤクしてしまつた日中関係であります。

特に、経済関係の悪化は、「リーマンショック」「欧州危機」に匹敵する三度目の世界経済危機の到来（とうらい）と案（あん）じる専門家もいらつしやいます。 愛国無罪（あいこくむざい）とされるデモや企業への暴動などもありましたが、在留邦人の事業や安全な生活を脅かすものでしたよね。 これは、アメリカでは、「ヘイトクライム（憎悪犯罪（ぞうおはんざい））」といわれ、特定の人種や信仰に対する侮辱（ぶじよく）や攻撃のことです。

この二つの「国防」は、これからの国民生活を守る大きな政治課題となっております。 ◇エネルギーが大変革を遂げたのが、今から二百年前の産業革命ですが、今世界は、「人口の爆発的增加」「環境破壊」「温暖化」という大きな課題を突き付けられています。

十九世紀は化学の時代、二十世紀は物理学の時代、二十一世紀は生物学の時代といわれましたが、その潮流（ちやうりゆう）を裏証したのが、ノーベル賞を受賞された京都大学山中教授のiPS細胞です。 四十億年の生命の歴史を書き換える力を秘めています。 一昔前（ひとむかしまえ）までは、日本の技術は応用ばかりと批判されがちでしたが、iPS細胞の分野では、その逆の現象が起きています。 大きな課題を突き付けられ、苦境に立たされている世界での、科学技術立国である日本の目覚ましい活躍でありますし、喜ばしいですね。 さらになる飛躍を期すものです。

◇拓殖大学日本文化研究所客員教授の黄文雄（こうぶんゆう）さんは、「歴史から消された日本人の美德」の著書のなかで、大航海時代（だいかうかいじだい）、日本は戦国時代に日本を訪れた宣教師たちが、日本人の知性や道徳は世界最高であるとイエズズ会に書き送っていたと記されています。 さらに、三世紀に書かれた「魏志倭人伝（ぎしわじんでん）」には、「窃盗（せつとう）せず、訴訟（そしょう）少なし」の記述があり、当時、日本は質の高い社会であったことなどを紹介されています。

苦境に立たされている世界に身を委（ゆだ）

ねている我々です。特に、人口問題に関し

ては世界の流れとは真逆で、このままだと西

暦三千年には消滅する、「絶滅危惧種（ぜつ

めつきぐしゅ）だともいわれています。し

かしながら、我々は、「日本人の誇り」を取

り戻し、前向きに歩んでいかねばなりません。

◇日本は、特定の教典（きょうてん）を持た

ない八百万（やおよろず）の神々が鎮座（ち

んざ）される国であり、我々の御先祖様は、

折に触れて神々に手を合わせ神様という鏡

に自分自身を照らすことによって身を律（り

つ）してきました。これが、三世紀当時の

質の高い社会、世界最高の知性と道徳を兼ね

備えた戦国時代から変わらない日本人の「刷

### 九月の祭典行事報告

▼月次祭 \*九月一日、十五日

▼若宮神社例祭 \*九月十日〜十一日

▼福浦金刀比羅宮月次祭 \*九月十日

▼朝粥会 \*九月二十一日

▼祖霊祭 \*九月二十二日

※家の宗旨が神道（神道家）の霊祭（みたままつり）

▼貴布禰神社例祭

\*九月二十二日〜二十三日

▼秋季例大祭奉納グランドゴルフ大会開催

\*九月二十三日

▼観月祭 \*九月三十日

※日本酒を楽しむ会もあわせて開催

◇十月の祭典行事予定（報告も含む）

▼月次祭 \*十月一日、十五日

▼六連島八幡宮例祭 \*十月四日〜五日

※湯立て神事斎行

▼田の首八幡宮例祭 \*十月十三日〜十四日

※お神輿の御巡行があります

▼明神社例祭、舞子島八幡宮例祭

\*十月十五日

▼神宮神嘗祭当日祭 \*十月十七日

▼朝粥会 \*十月十八日

※下関市中央準倫理法人会のモーニング  
グセミナーも兼ねて開催します  
▼彦島八幡宮主催ワイワイリーグ

\*十月二十八日（ソフトボール大会）

◇十月の宮司の行事会議等活動予定（報告も含む）

▼八幡宮関係団体

◇秋季例大祭関係者説明会 \*十月十六日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◇女子神職会三十周年記念式典 \*十月十六日

◇神社庁役員会 \*十月二十三日

◇支部長事務局長会議 \*十月二十四日

◇神宮大麻頒布始祭 \*十月二十四日

◇山口県八幡宮会実行委員会 \*十月二十四日

◇下関市戦没者慰霊祭 \*十月二十八日

▼西ロータリークラブ  
◇例会 \*十月三日 ※職場例会、当宮にて開催

\*十月十日、十七日、三十一日

◇メーキャップ \*十月十九日、二十二日、二十九日

▼講演活動

◇下関西ロータリークラブ職場例会にて

「彦島八幡宮の歴史と文化」題して卓話

\*十月三日

◇リバース彦島例会にて卓話

\*十月六日、十八日

▼その他  
◇中央準倫理法人会モーニングセミナー

\*十月十一日、十八日、二十五日

◇リバース彦島例会 \*十月六日、十八日

◇山銀はつてんクラブ例会 \*十月二十二日

◇迫町自治会役員会 \*十月二十四日

「とこしへに 國まもります 天地の  
神のまつりを おろそかにすな  
とあります。

とあります。

今月の例大祭の御奉仕、襟を正して、遺漏

なく厳修（げんしゅう）したいと思ひます。  
御自愛をお祈り申し上げます。